

家庭用品は正しい使い方で

化学物質は、わたしたちがふだん使っている家庭用品のなかにも多くふくまれています。しかし、こうした家庭用品については、正しい使い方や適切な管理をすれば、その害の多くは防ぐことができます。

こうして使えば安全、安心

家庭用品は正しい使い方さえすれば、本当に便利なものです。こんなことに気をつけて使うようにしてみましょう。

●暖房を使うときには換気を心がける

石油やガスを使う開放型のストーブなどは、一酸化炭素・二酸化炭素などの化学物質を発生します。頻りに換気をして、室内の空気を入れ換えましょう。



●新しい衣類やシーツは、洗濯してから使う

最近の衣類やシーツには、型くずれを防いだり、ダニやカビの発生を予防するために、化学物質が使われていることがあります。新しいものは一度洗濯してから使いましょう。



安全

住まいのチェック

家庭用品は安全に使っていますか？

化学物質をふくむ洗剤、防虫剤、殺虫剤、衣料などによる中毒事故にむずびつような行動をしていないかをチェックしてみましょう。



- 石油ストーブを使うときには換気を心がけていますか？
- 新しい衣類やシーツは、一度洗濯してから使っていますか？
- 洗剤や防虫剤、殺虫剤は、使用上の注意をよく読んでから使っていますか？
- 浴室で洗剤を使う場合は、換気を十分にしていますか？
- たばこを吸うときには換気をしたり、空気清浄機を使っていますか？
- 化粧品や防虫剤、殺虫剤は子どもの手の届くところに置かないようにしていますか？

●タバコを吸うときは空気清浄機を利用する

タバコの煙には、多くの化学物質がふくまれています。発がん性が認められているものもありますので、タバコを吸うときには空気清浄機を使ったり、換気に気を配るようにしましょう。



●防水スプレーは屋外で風上から風下に向けて使う

スキーウェアやレインコートなどの防水に使う防水スプレーで、咳や呼吸困難などの呼吸器系中毒事故が報告されています。必ず注意事項を守って使いましょう。

安心

●防虫剤、殺虫剤や電気蚊取り器は使いすぎに注意

防虫剤、殺虫剤や電気蚊取り器にも化学物質は使われています。かならず注意書きを読んで、指示どおりに使いましょう。特に防虫剤や電気蚊取り器は、使いすぎたりスイッチを切り忘れると、過量に化学物質が放出され続けますので、注意が必要です。



-ロメ-

レジオネラ症

レジオネラ症って？ 土壌や淡水に生息する細菌（レジオネラ属菌）の感染によって起こる疾患で、肺炎等を起こし死亡例も発生しています。

感染源・感染経路は？ 空調機の冷却塔、循環式浴槽（24時間風呂）、加湿器、噴水など、レジオネラ属菌を含むエアロゾル（微小な水滴）を吸い込むことで発症します。

感染を防ぐには？

<循環式浴槽> 水しぶきの発生するような器具の使用を避け、定期的に浴槽内部の清掃・塩素剤による消毒を行いましょう。

<加湿器> タンク内の水は定期的に交換し、タンク内面を絶えず清潔にしておきましょう。

<その他> 噴水などの周辺で生ずる水しぶきを吸い込まないように注意しましょう。

